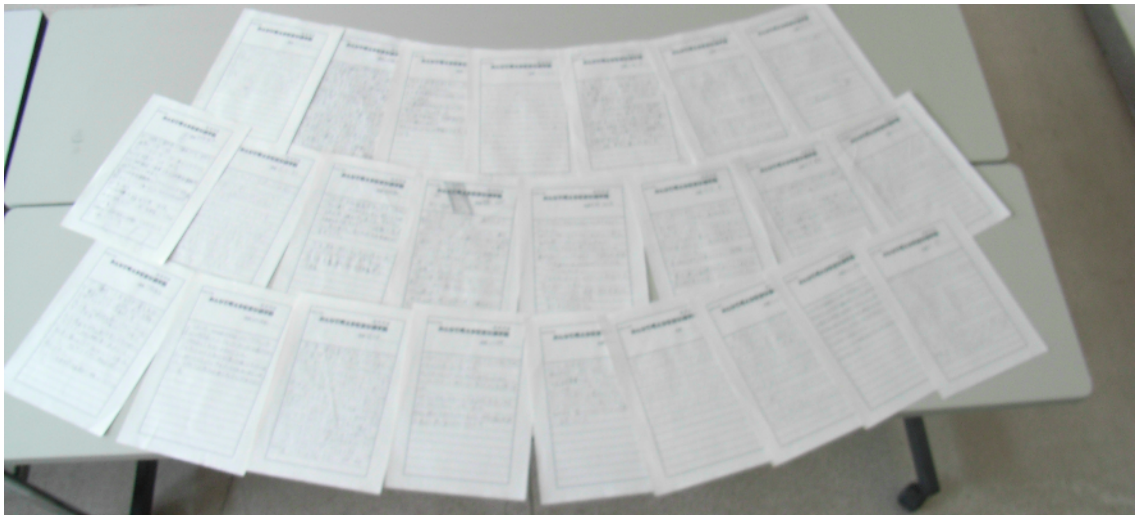


福島県県北建設事務所
平成22年4月13日



安全ですばらしいフルーツラインにするために



《大笹生小学校6年生全員の感想文：きれいなイラスト入りもあります》

平成22年3月9日に、福島市立大笹生小学校の6年生24人全員が、「安全ですばらしいフルーツラインにするために」という思いを込めて、通学路の改善とフルーツラインの利用者に対する呼びかけに挑戦しました。

教室で話しあったこと、現地でスコップを手に歩道を補修した苦労や新しい発見とともに、これからの願いや大人へのメッセージを感想文という形で、24人の生の声を届けてくれました。できるかぎり忠実に紹介します。

- 1 僕は、ちーむサンシャインで段差にコンクリート（応急補修用アスファルト：以下同様）を埋めた事はすごく良い経験になったと思います。車に乗っている人にメガホンで呼びかけたり、パネルを見せたりして、フルーツラインの安全にもつながると思います。

コンクリートを埋めるのも楽しかったし、自分達がフルーツラインのために何かしたと思うと気持ちが良いです。また、フルーツラインでは無い道路でも危険があるなら、色々やりたいと思います。本当に楽しかったです。
- 2 ぼくは、フルーツラインは危ないと思っていて、こども議会にその案を出すことになって、出したら本当に実現することになり建設事務所の人たちが来て、自分たちで道路を平らにする事になり、テレビ局の人が来るほどの大きな話になってびっくりしました。

フルーツラインは、みんなが通る道路なので大切に使ってもらいたいなと思いました。でも、みんなで計画を立てていた時は楽しかったです。呼びかけも、手を振ったりして楽しかったです。

自分たちでやってみてこの仕事は大変だと思いました。
- 3 私は、この活動をやってみて一番心に残ったことは、歩道のすきま埋めです。見た感じは簡単そうに見えたけど、やってみたらいがいと難しくて、なかなか平らにならなかったです。

安全なフルーツラインにするための呼びかけはスルーする人もいれば手をふってくれた人もいておもしろかったです。

とにかく安全ですばらしいフルーツラインにすることは大変なことだと思いました。
- 4 最初はあまり歩道とかにピンとこなかったけど、道路の勉強をしていくにつれてだんだん道路とかのことがわかっていきました。

歩道のへこんでいるところをなおすとき、どうやってつくっているのかわからなかったけど、やっているうちにだんだんわかっていきました。呼びかけの時は、車は止まってくれなかったけど、手をふってくれる人がいてうれしかったです。

私は、これからも安全ですばらしいフルーツラインをめざしていきたいと思いました。

- 5 ぼくが、こども議会で話したらみなさんがきてくれて、みんなと話し合い、だんさをうめたりしたのはうれしかったです。それにすべて初めてのことだったので、いい経験になったなとおもいました。あと、テレビにも出れたので最高でした。

でも、危ない所に少しだけでもいいからガードパイプ（レール）をつけてください。いつになってもいいのでおねがいます。

- 6 ぼくは、フルーツラインが安全という事は、やっぱり事故が少ないということだと思います。なぜなら「すばらしい」というテーマも出ているし、事故がフルーツラインで起きれば、観光などで来る人が危ない道路だと思って来るひとが減ったりするからです。事故を少なくするために今回行った呼びかけ、道路を平らにするということをやって効果があればいいと思います。

また、今回行ったことは、ふつうじゃ経験できないのでいい経験になったなあと思います。

「みんなで考える安全ですばらしいフルーツライン」を考えたことで、どうすれば安全ですばらしいフルーツラインになるのかなあと考えました。ぼくは、人も車も注意して道路を使う事こそ事故が少なくすばらしいフルーツラインになると思いました。

- 7 すこしのだんさをなくすのに時間がかかることがわかった。それにどうろは、こうしてできているんだなと思った。

自分たちでよびかけやかんばんをみせてよびかけをできるとは思ってもいなかった。車から手をふってくれる人もいてうれしかった。どうろを直すのは、はじめてだったからいいけいけんだった。さむかったけど、ぶじにさいごまでできたから良かった。

そして最後に写真をとってかえってきたので良かった。またやりたい。

- 8 ぼくは、道路の安全について深く考えたことはなかったけど、この授業で道路の安全について深く考えることができました。

特に思ったのはガードパイプをただ単に付けただけでは、みばえが悪くなる、景色が見えないなどの問題がでるとということと道路は安全でなければいけないということです。

道路をうめる作業はとていい経験になりました。

県北建設事務所のみなさん、これからも道路の安全を守ってがんばってください。

9 いつもぼくは通学路として、あの場所を通りますが、次の日から通りやすくなったような気がしました。

初めてアスファルトでへこみを直して楽しかったです、呼びかけは、おばちゃんたちが手をふってくれたりしたので効果があったのかなぁと思いました。

あとは、歩道にガードパイプをつけたりしてくれるといいなぁと思いました。

10 テレビでフルーツラインのことをテレビで流せたりできて楽しかった。

段差をうめる土がかたまるのが早くて少しおどろいた。呼びかけをしたときに久しぶりに大声を出したので気持ち良かった。呼びかけをして手を振った時に、車の中の人も手をふってくれたのでうれしかった。

こういう経験はなかなかできないのでいい経験になった。

11 この活動をして、通学路の道があるていど安全にできたから、道路に関心を持つことができたから、いい活動だと思った。

例えば、この道路を広くしたらいいのになという事が思いつくことがあるからいいと思った。そして、歩道をほそうする作業の人々の助けになってよかった。自分も自転車で通ったところ、段差で落ちることがなくなっていいと思った。一枚だけだけど、チラシをひとに渡せてよかった。

テレビにも自分の横顔が映っていてびっくりした。

12 ぼくは、始め自分たちでフルーツラインの危ない所を直したり、フルーツラインの注意を呼びかけするなんておもいませんでした。でもやってみたら、自分たちで直した道はキレイになったし、呼びかけをしたら手をふってくれる人までいました。

しかもテレビ局の人も来てテレビにでてよかったです。

13 3/9 に県北建設事務所の人がきてフルーツラインの道路を直しに行った。

ぼくたちは、まず、パネルを持って車にのっている人に呼びかけをした。〇〇君と〇〇君とぼくでボイスを担当した。そして車の人にこういう風に言った「人も車も注意して道路を使いましょう」や「安全ですばらしいフルーツラインを目指しましょう」等と言った。そういうことをしているうちに気分が上がり、車の人に手をふってみたりした。時間がたつと別のグループと交換をし次は凹んだ所を常温合材で穴うめをした。その常温合材は普通のアスファルトとはちがい、そのままの気温で固められるのがすごいなぁと思った。

こういう行動を大笹生のみんながしてくれて、このフルーツラインが「安全ですばらしい、みんなが通ってくれる道路」になると思います。

14 はじめてコンクリートをうめてみて、すごく大変だった部分もあったけど思い出になりました。

そして、呼びかけは、なんか手をふってもかえしてくれない人もいたけど、ふってくれた人もいたからよかったと思いました。スピーカーをもって呼びかけしたら、すっきりするかんじですごく楽しいと思いました。あまり人前で大声でなかなか言えないかな??と思ったら、けっこう声が出たのでよかったです。

15 ぼくは、初め自分たちでフルーツラインの車の人たちに呼びかけたり、危ない所を直したり、じっさいにやるなんておもわなかったけど、やってみたら以外と手をふってくれたり、してくれた人が多くてよかったです。

危ない所を直すのは最初どうやるか分からなかったけどやってみたらけっこう楽しかったです。その中でも一番びっくりしたのは、テレビ局の人が本当に来たことです。

16 私は、この活動でいろいろなことが分かりました。1つは道路には、まだまだ危険があることです。もう1つは、道路をつくる人はとても大変だと思ったことです。つくる人は、通る人とのことを考えたり、風景なども考えているのですごいと思いました。

コンクリートを平らにする作業は簡単だと思ったけれど、安全な道路に一步近づいたとおもうと、とてもいい気持ちになります。

17 最初は、フルーツラインがどこまであるか分からなかったけど、写真を見ていたら、すごく長い道路なんだなあと思った。二回目は休んで何をやったか分からなかったけど、三回目でやることが分かってやってみたらおもしろくてまたやりたいと思いました。これをやれば安全だから人の役に立つのはいいと思いました。

6時くらいから自分がテレビにでていておどろきました。

そして、あの場所の補修がいつまでものこっているといいです。

18 私は安全な通学路のことを考えるのは初めてでした。最初は、みんな
で安全な通学路について考えるだけだったけど火曜日には実際に通学路
をなおせてもらい、楽しかったし、通学路の使い方も考えられる良い機
会になりました。

呼びかけのときボードを見てくれたり手をふってもらったとき、分か
ってもらえた気がしてうれしかったです。

これからフルーツラインの事故はなくならないと思うけど少しでも少
なくなればうれしいです。

19 道路のことを勉強してあんなことこんなこといっぱいあった。自分が
考えているよりもいっぱい。だから3月9日の活動は自分で言うのもあれ
だけですがすごくいい活動だと思った。がんばった価値が大有り？

段差の修理は、おもしろいし大変だったし、すごく貴重で思い出に残
るものだった。もう1回やりたいと思った。といつつも、あれをずっと
やっている人はすごいと思った。

これからも、安全ですばらしいフルーツラインを目指していきたい。
がんばりたい。サンシャインばんざいです。

20 私は、初めてこういう経験をして、いがいに簡単になおせるものだ
と知って、もっとたくさん段差があるところが、まだまだあるのでもっとた
くさんなおしてほしいと思いました。フルーツラインも、もっと安全で楽
しく通れる道路になれば、みんな通ってくれるのもっとかえていきたく
なあとと思いました。

また、こういう機会があればやりたいです！

21 ぼくは安全な通学路とは事故がない安全な道路だと思います。

フルーツラインはいっぱい車がおるのでちょっとだけ危ないと思
いました。そこで子供議会で提案したら建設事務所の人たちがきてくれま
した。そこで建設事務所の人たちとへこんでいる歩道をなおしたり、い
ろいろ車にのっている人に呼びかけなどをしました。このような仕事は
大変だと思いました。これからはもっとフルーツラインを安全にしてほ
しいです。

この初めての経験は体験してよかったです。とても楽しかったです。

22 私は、安全ですばらしいフルーツラインには何が必要か？を、今まで考えてきて道路に行って呼びかけや、でこぼこしている所を平らにしてみても勉強になりました。でも、ヘルメットと軍手は少しカッコ悪いと思いました。歩道で呼びかけをしているときに道路を通る人笑われることがはずかしかったです。でこぼこしている所を平らにするのはてきとうにやればできそうだけど、きれいにしていねいにやらなきゃいけないと思いました。平らにするのが、けっこう難しかったです。道路関係の人はこんなことをやっているなんて大変だと思います。

その他に、テレビ局の人がインタビューをしに私の所に来て、少し恥ずかしくてしゃべるのが大変でした。しゃべっているのにカメラが回っていないくて、やりなおしをさせられていやな気持ちになりました。家に帰ってからテレビを見ました。ちゃんと自分が映っていてよかったです。

テレビを見た人がフルーツラインのことをもっと知ってくれたらいいと思います。そして、もっとフルーツラインがよくなるといいです。

23 六年生で提案した安全なフルーツラインについて本当に実現してびっくりした。

建設事務所の人たちは、いつもこんなふうには仕事していてすごいなあと思った。ぼくは道路をたいらにする作業が初めてやったから少しだけ難しくおもえた。これからもフルーツラインの整備などやってほしいです。

24 ぼくは、子ども議会で〇〇くんが言ったフルーツラインのことを意見でいったら、県北建設事務所の人たちが来てくれて、ほんとうにうれしかったです。そして歩道の段差をうめるということでどんなふうにして道路の段差をうめるのかなと思いました。ぼくが思っていたのはコンクリートでかためてたいらにするのかなと思ったら、コンクリートじゃない黒い砂みたいなのがでてきて、どうやってかためるのかなと思ったら、まず、たいらにしてそれを足でふんでかためるというものでした。工事はすごかったのしかったです。

あとメガホンで運転している人に呼びかけたり、あと運転している人に手をふってみたら、運転している人も手をふりかえしてくれて、とても楽しかったです。

フルーツラインの段差を直してくれてありがとうございました。